

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和元年 9月 17日

盛岡市議会議長

達 藤 政 幸 様

議員氏名 熊谷 喜美男



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により平成31年(令和元)年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。





別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	200,000 円	
支 出	調査研究費	0 円	
	研修費	0 円	
	広報費	200,000 円	広報紙作成・配布代金
	広聴費	0 円	
	会議費	0 円	
	資料作成費	0 円	
	資料購入費	0 円	
	人件費	0 円	
	事務所費	0 円	
	支出合計 ②	200,000 円	
差引残余 ①-②	0 円		

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	広報費			
支出年月日	支出金額		摘 要	備考
R1. 7. 26	200,000	円	広報紙印刷代金, 配布代金	
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
合計	200,000	円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和1年7月26日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	288,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	200,000	円

【支払概要】

広報紙印刷代金・配布代金
6,900部印刷, 6,853部ポスティング

領収書等添付欄 別紙に添付

領収日	領収番号
令和元年7月26日	No. 029949

領収書

請求番号
521361

〒 _____
住所 _____
熊谷 喜美男 様
☎ () - _____

金額		百万		千		円
(税込)	¥	2	8	8	0	00

上記正に領収いたしました。

掲載日: 令和元年7月22日
摘要: 市政たより制作印刷
6900部(6853部ポスティング)



●世帯を超えて 地域に愛される広告を

shougou 株式会社 総合広告社

〒020-0022 白河南大橋1-1-16 若手野原ビル2F ☎0191-626-3370 FAX 0191-626-3371
〒030-0861 千代田市本町2-10-4 千代田ビル6F ☎011-717-735-6621 FAX 011-717-735-6622
〒010-0901 秋田県秋田4-17-12 一辺ビル2F ☎018-831-8701 FAX 018-831-8702

代表取締役 株式会社 総合広告社 印 振込



令和元年

7
月号

熊谷きみお 盛友会 市政だより

ダイジェスト版
平成30年3月発行

発行元 盛岡市北松園2丁目19-11 TEL&FAX 019-663-2138

発行者 熊谷喜美男

この広報は政務活動費により作成したものであります。

地域住民の皆さまに感謝と敬意を 7期28年間 誠にありがとうございました

平成3年4月の初当選から盛岡市議会議員として、山積する地域の課題と向き合い皆さんに寄り添って歩んでまいりました。振り返れば、多くの叱咤激励の中で、形にできたこと、改善の余地がありながら力及ばずと痛感すること、様々でございました。

ご期待に副うべく、「皆さんの手足となって、代弁者として地域住民の声を市政へ」を常に念頭に、懸命に走り続けました。大変ありがたいことに、このような老体になっても次期に対して熱いご支持の声を背中にあびることができ、身に余る想いととも、皆さまに対し感謝の気持ちと敬意を表するほかないわけでございます。

しかしながら、走り続けた日々から少し立ち止まって周りを見渡しますと、私の積み重ねた年月と同じくして後輩議員の躍進や、産業・工業・商業の目まぐるしい変化、湧き上がる感情や体調とも相談しながら、いろいろ思うことがありましたがご周知の通り、第一線を退き、頼もしい後輩議員たちにバトンを渡す決心をいたしましたところでございます。

今回の『市政だより』は市政活動をお伝えする最後のお便りであると同時に、熊谷きみおから皆さまへの『私

勢だより』でもあると考え平成30年3月発行号をダイジェスト版として発行いたしました。特別な思い入れのある松園、地域住民の皆さまとともにした喜怒哀楽の顔、お声の一つ一つを思い返しなが、そして私の姿勢が多くの方々の快適な暮らしに結び付いたことを改めて強く願いながら、振り返ってみたいと思っております。



盛岡市議会議員として働き、人の役に立つことができたことを大変幸せな人生だと思っております。皆さまに心から厚く感謝申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

【職歴・団体歴・表彰歴、携わった事業など】

昭和40年 3月 岩手県大船渡工業高等学校電気科卒業
4月 東北電力㈱入社
昭和52年 6月 東北電力労働組合岩手支部 副委員長(昭和62年6月まで)
8月 全労済岩手県本部 理事(昭和62年7月まで)
昭和62年 6月 東北電力労働組合岩手支部 委員長(平成3年6月まで)
岩手県電力総連 会長(平成3年6月まで)
8月 全労済岩手県本部 理事長(平成3年7月まで)
平成元年 2月 全日本民間労働組合岩手県連合会 事務局長(平成元年12月まで)
12月 連合岩手 副会長(平成3年12月まで)
平成3年 4月 盛岡市議会議員初当選
平成6年 4月 盛岡市立北松園小学校創設
平成7年 5月 盛岡市議会総務常任委員会委員長(平成9年6月まで)
5月 盛岡市議会新盛同志会幹事長(平成11年5月まで)
平成8年 4月 盛岡市立北松園児童センター設置
4月 盛岡市立北松園老人福祉センター設置
盛岡市立北松園中学校創設
平成9年 4月 北松園町内会会長(平成29年4月まで)

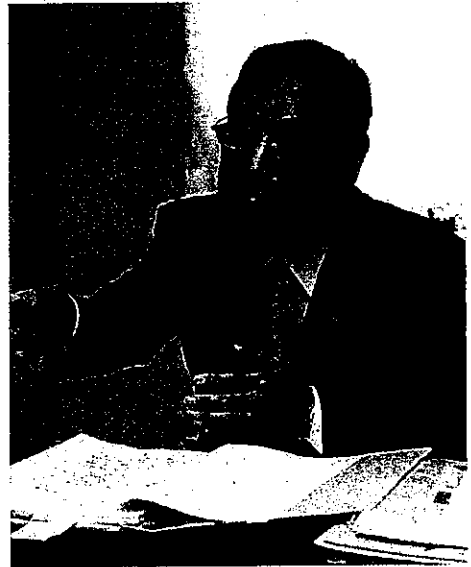
平成9年 4月 東北市議会議員6年勤続表彰
平成10年 3月 盛岡市クリーンセンター竣工
平成11年 5月 盛岡市議会議会運営委員長(平成15年5月まで)
平成13年 5月 全国市議会議員10年勤続表彰
7月 松園バスターミナル完成・運用開始
平成14年 3月 盛岡市余熱利用健康増進センターゆびあす開館
平成15年 5月 盛岡市議会新盛同志会幹事長(平成19年5月まで)
5月 岩手県競馬組合議会副議長(平成19年5月まで)
平成17年 5月 松園地区自治協議会会長(平成29年5月まで)
平成18年 5月 全国市議会議員15年勤続表彰
平成20年 3月 社会福祉法人 育心会 理事(平成23年8月まで)
6月 盛岡市松園地区公民館本館開館
平成21年 6月 盛岡市議会議会運営委員長(平成23年8月まで)
10月 一般国道455号北山バイパス開通
平成23年 6月 全国市議会議員20年勤続表彰
9月 盛岡市監査委員(平成27年8月まで)
平成24年12月 盛岡市松園地区公民館別館開館
平成28年 5月 全国市議会議員25年勤続表彰

今回の市政だよりでは、私の議員生活28年を振り返り皆さんの代弁者として取り組んでまいりました政務活動や議会での質疑、松園地域の発展と住み良い街づくりに邁進した想いを綴ってみることにいたしました。

松園地区は介護施設や病院などを備えたベッドタウン——

地域住民の声に耳を傾け 周囲と協力し課題解決に尽力

平成3年4月より、盛岡市議会議員として、北松園地区を中心に地域の課題解決に尽力してきた熊谷きみお議員のその取り組みや今後の展望などについて、改めて市民の皆さまにお伝えするべく取材を依頼し記事といたしました。

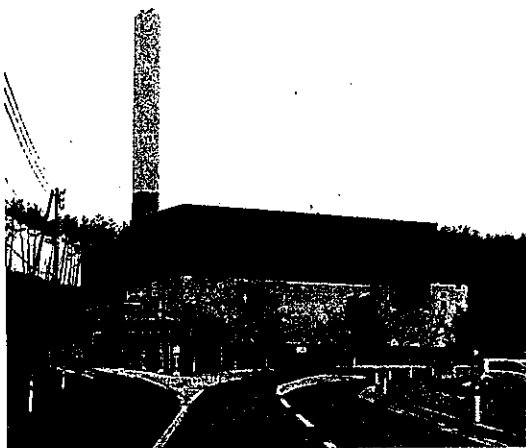


ごみ処理と交通・衛生環境の整備 課題に対し最後まで真摯に向き合う

議員になられて一番初めに直面した、ごみ処理施設「盛岡市クリーンセンター」の建設問題についてお聞かせください。

当時は三ツ割にあった旧ごみ焼却場から出るダイオキシンの公害が問題になっておりましたので、議員になってすぐに北松園地区が新施設建設の候補地になっていると知って戸惑いました。ですが、人が生活していく上ではごみ処理施設が不可欠です。どこかには必ず設置しなければならないということで、平成8年に公害防止協定を締結しダイオキシンの排出量を抑え、盛岡市余熱利用健康増進センター「ゆびあす」をつくることで、市民の交流人口拡大や健康増進にも役立てるなど、メリットのある事業にすべく奔走しました。北松園小学校前の公園にも「今何グラムのダイオキシンが出ているのか」を表示する装置を設け、安心・安全な運用を促しております。

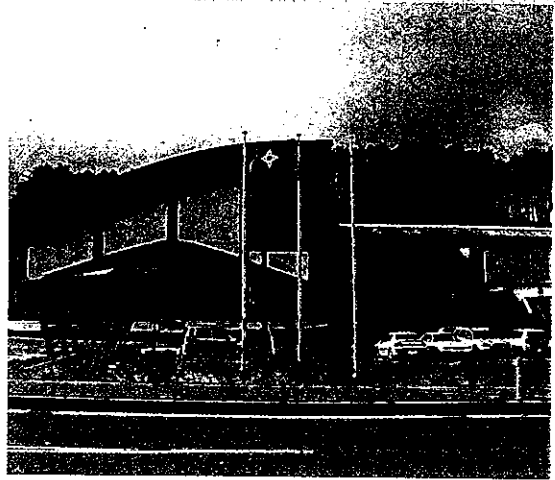
クリーンセンターの設置は社会全体的な視点で考えるならば必要ですが、近くに暮らす住民からすれば困る。そうした複雑な問題がありますので、地域との十分な対話が欠かせません。当時北松園地区以外に16箇所の候補地がありまして、当地区が本当に建設をするのに最適な条件がそろっているのか、他地域とも比較するため情報開示をすべきだと議会で訴えたのですが、結局公開されなかったことを残念に思います。住民に十分な検討材料を提示しないまま決定すべきではありませんので、今後もそこは力を入れて当局へ主張していきたいですね。現在、新しく移転する話も出てきておりますが、そうすると移転場所の選定のほかに、今稼働中の施設をどうするのかという問題も出てきます。三ツ割の旧ごみ焼却場も使われなくなって長い間放置されてきました。もし移転をするならば跡地の解体や利活用まで考えなければなりません。



盛岡市クリーンセンター

今あるごみ処理施設の余熱はプールと浴場の運営に使われていますが、ほかの使い道はないのでしょうか？

一般的にはスイカやイチゴなど農作物の栽培に利用することも考えられるのですが、山があり起伏が大きい地形であることから、蒸気の熱を利用するための配管を通すことが難しいんですね。ですから現実的に考えるならば、周辺地域に住んでいる方を対象に「ゆびあす」の利用料を無料にするなどして住民に還元する仕組みをつくつたらいいんじゃないかと私は思います。一度市に質問したことがあるのですが、温泉収入に関する規制があるらしく認められないということでした。しかしながら地域を発展させていくため、時には時代に合わせルールを変えていく柔軟さも必要なのではないでしょうか。



盛岡市余熱利用健康増進センター「ゆびあす」

「ゆびあす」へと続く道路が完成してからアクセスも良いので、活用の幅も広がれば嬉しいです。

道路の開通に際しても、当時いくつか候補があった中で決まった形です。小鳥沢地域から脇道を通るルートはトンネル工事が必要で予算の関係上難しい。かといって学校の前を通るルートも学生の安全を考えると望ましくないと。議論をしていたようなのですが、私は「一番利便性が高い山沿いのルートをなぜ候補に挙げないのか」と疑問に思い尋ねてみました。すると「私有地だから許可がもらえるか分からない」と返ってくるわけです。しかしながら、地主さんに交渉すらしないで最初から諦めていては何も始まりません。すぐに市にかけあつてもらい、地主さんに聞いてみたところ許可が下りました。何事も決めつけずにまずは話してみることが大事ですね。

「北山トンネル」も開通してから非常に交通がスムーズですよ。

新しい道路の整備も必要ですし、既にある道路のメンテナンスも行う必要があります。例えば県立博物館から小鳥沢地区へ抜ける道の路肩補修などですね。それから、手入れをしない法面はゴミを投棄されるなどどんどん荒れてしまいますので、まちの環境を守るため町内会挙げて清掃に取り組むことが求められています。

まちの環境を整えるため、カラス対策のごみネット設置にもご尽力されたと伺いました。

カラス対策のごみネット設置は小鳥沢地域で先に実施しておりまして、北松園地区も同じものを導入すべきと考えたのですが、初めは市に「歩道は人が歩くものなので、そこへの設置を許可することはできない」と断られました。そこで、畳んで収納できるタイプネットだったらどうかと提案しまして、許可をもらったという次第です。へこませるタイプのネットは周辺地域では松園地区が初めて導入したんですよ。



ごみ捨て場

それから資源ごみを回収するためのストックヤード設置に関しては、十分な土地も資金もありませんでしたので、ごみステーションをストックヤードの代わりにして定期的にそこへ資源ごみを出す形式にいたしました。ごみの回収は業者さんと地域の方が行っており、収益金は1年で約200万円にもなりますので、その資金を地域のさまざまな活動に回しています。今は他地域も実施しておりますが、これも松園地区が先駆けとなった事案です。



下水道など市民生活改善と文化振興 関係者と話し合いしっかりと合意形成

水道管凍結や除雪の問題など、やはり冬は寒い地域ならではの対策も必要ですね。

水道管に関しては、緑が丘の高台に住む方から相談を受けたことがあります。高台にある家は水道を上までポンプでくみ上げて使用しているのですが、冬になると凍って使えなくなるんですね。地域の当番制でポンプが凍らないようヒーターの番をしていたようですが、なんとかならないかと言われてまして。私も悩みましたが、当時の下水道部長のアドバイスも受けながら、どうにか普通の水道管を通すことに成功しました。「どうせ水道を引くなら下水道も一緒にやった方がいいよ」ということでしたので、セットでつくることになりまして。助成金も出るような形で通すことができ、良かったです。

東松園の県営アパート除雪については、県有地であるから市での除雪ができないということでしたので、町内会で業者に依頼して実施することになりました。駐車場は遊休地を活用してはどうかと県に相談し実現したものです。県と市も話し合いが必要ですので、うまく橋渡しをして解決策を探っていかなければなりません。

町内会も協力した事例でいうならば、有線放送をつないだことが思い浮かびます。北松園地区は電波が入りにくい状況にあったので、新たな設備を置くための資金を住民の皆さんから少しずつ集め業者へ持っていったのですが、「町内会が有線テレビ組合をつくるならば譲渡します」と言われました。町内会で電波の配信をすることで設備は譲り受けることができましたので、集まった資金は私が町内会長のときに住民の皆さんから了解を得て、全世帯ケーブルテレビ加入に回すことができたという次第です。

北松園地区は生活環境も快適ですし、文化的な活動も盛んなイメージです。

老人福祉センターとの複合施設として平成8年に開設した北松園児童センターでは、ヨガ・バドミントンといった運動もできますし、七夕会や餅つき大会など季節の行事も開催されています。それから松園地区公民館では、芸術文化祭、麻雀大会、シルバー世代と子どもの卓球大会などの活動も盛んで、地域全体の芸術レベルも高いのではないのでしょうか。

複合施設開設にあたっては当時PTAの反対もあったのですが、東京に小学校と老人ホームが一体となった施設の先進事例がありましたので、そこへ視察にお連れし実際の現場を見てもらうことで納得していただきました。シニア世代と子どもが遊ぶ様子や、防犯カメラの設置場所などを確認していただき、「同じようにするならば地元につくってもいい」ということになりまして。これも地域の皆様をはじめ、県教育委員会などのご理解により実現した建物となっています。

イベントといえば、夏祭りも40年以上昔ながらの開催期間と内容で続けてきたのですが、少子高齢化の影響もあり運営に携わる人もだんだん減ってきていて、存続が難しい状況があります。土日開催だと月曜日と日曜日に準備や片付けなどをしなければなりませんから、現実問題として運営が大変なんですよね。祭りは1日でもいいんじゃないかという声もあるんですが、「子どもたちが大きくなっても故郷のことを思い出せるように」という思いから、皆で協力しこれまで通り実施してきました。



東松園の県営アパート除雪



北松園児童センター・北松園老人福祉センター



松園地区公民館

雇用促進と地域企業の支援 人口減少対策にも取り組む

夏祭りの存続でも少しお話しがりましたが、やはり人口減少が進んできている実感はありますか？

昔に比べて小学校の数も減っていますし、松園エリアの消防団員が今1人だけなので退職金や報奨金など待遇改善を行い、なり手をもっと増やしたいなという思いもありますね。

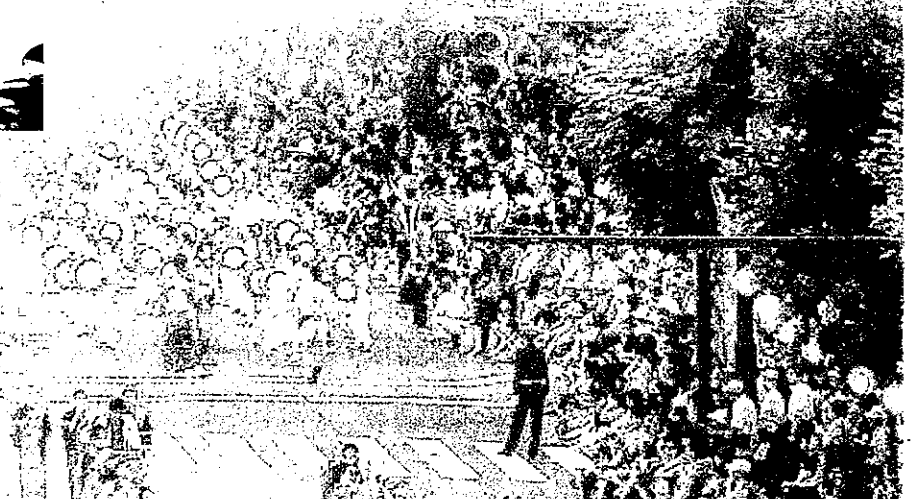
地域の人口を増やすためには、やはり雇用を促進することが大事です。かつて児童センターのところに公共用地があったのですが、そこを何に使おうかということになりました。市では畑にして町民に貸し出しをしたらいんじゃないかと考えていたのですが、私はちょっとそれはもったいないと感じて、もう少し良い活用はないかと探っていたんですね。そうしているうちに介護施設をつくりたいという話が出たので、30年後に土地代を無料にするということで無条件で貸すことになりました。今度東松園にも新しい施設ができる予定で、福祉の面で住民が安心して暮らせるまちになりつつあるのかなと。こうした施設が増えることで、雇用の場創出にもつながっていけばいいと思います。

地域活性化のためには、雇用促進と併せ既存の地域企業に対する支援も必要です。例えば学校給食の話でいえば、都南村はセンターがつくった給食を学校に届ける方式だったのですが、合併後盛岡市でどうするかと委員会を設けて検討したところ、センターの敷地と資金の関係で難しいということになり、選択弁当方式となりました。民間の業者による宅配をしようということですね。そこで入札によって業者を決めることになったのですが、なかなか決定しないんです。何故なのか疑問に思いまして、教育長と共に業者さんへ話を聞きに

いくことになりました。すると、契約が1年だから業務に必要なトラックや備品などを購入するのは採算が合わないというんですね。まして学校給食は1日1食という限定がある上、土日休み・長期休みがあると、これでは雇用が不安定になってしまうということでした。議会では「企業が引き受けられない」という報告を聞くだけでしたので、そうした事情があったのかと納得しましたね。直接話を聞くことで本当の問題が見えてきましたので、委託の条件を全て見直すこととなりました。将来的には、空いている土地を貸して工場をつくれるようにするなどさまざまな企業支援もしていくことで、活性化を図っていきたいです。地元企業に力がないと、すぐに大手企業に負けてしまいますので、私たちがバックアップをしていかなければならないという思いがあります。



特別養護老人ホーム「サンタウン松園」



北東北の拠点を目指しまい進 地域からの信頼や支援に感謝

これから盛岡市はどこを目指していくべきでしょう？

青森や秋田に負けず、北東北の拠点を目指していきたいですね。平成5年の都南村との合併を経て、さらなる都市基盤の強化を図るため盛岡駅西口整備や盛南開発などに取り組んできました。そうした中、松園地区は平成18年に玉山村とも合併を果たし、盛岡市の中央にあるまちになったわけですから、ここを発展の拠点とし地域を活性化させていくべきだと考えております。工業団地も一部隣接地帯となることも見込まれますが、どちらかという松園は介護施設や病院などを備えたベッドタウン的な役割を担っていくのではないかなど。その点も踏まえ、現在は宿泊施設がありませんので、他地域から冠婚葬祭などで訪れる人も温泉に入って宴会を開き、そのまま泊まることのできる場所をつくっていただければと考えております。

県全体で考えても、専門学校が多く若者も暮らしやすい環境にありますので、まだまだ伸び代があるのではないのでしょうか。そういった意味では、今この地域の成長に携わることができ、非常に嬉しくやりがいを感じております。

市民の側から見ても、まちづくりに対して情熱のある方が、意見を代弁してまとめてくださってありがたいです。

私が目標にしているのは「地域住民に寄り添う市政」です。市民にとって最適な解決策があるのに、規制などの壁が立ちただけで思うようにいかないこともあります。ですが、それでもほかの道はないか角度を変えて考えることで、より良いまちをつくっていただければ。チャンスがあれば逃さずにくらいついていくことが大事です。

ただ、それも一人でできるわけではありません。これまで実現してきたことは、皆さんのご協力があってこそです。そのご支援に感謝したい。そんな気持ちで日々市政に取り組んでいます。まちを回っていると「ここが困っている」「もっとうしてほしい」と、さまざまな頼まれごとや相談を受けます。今朝も除雪の依頼を2件ほど受けて、除雪車を手配しました。その方から感謝のお言葉もいただいて嬉しいです。相談を受けただけで早く動くことで、少しでも多くの方のお役に立てればと思っております。

やはり28年の経験があるからこそできることも多いと思います。知識だけでなく、話し合いをまとめる交渉力も求められますよね。

若手には若手の良さがありますし、私は私でこれまでの経験を生かして課題解決を進めていきます。

今振り返ってみますと、28年はあっという間でした。こんなに精一杯頑張らせていただいて、感謝してもきれいませぬ。私は電力会社出身ということもあり、最初はあまり歓迎されなかったのですが、地域の方の声に一つ一つ耳を傾け真摯に取り組むことで、少しずつ信頼関係を築くことができました。地域の方々の期待を裏切らぬよう、引き続き地域に山積するさまざまな課題に臨み、皆が過ごしやすいまちをつくれるよう尽力いたします。



地域住民に寄り添う市政

令和元年6月20日(木)に松園地区活動センターを会場に開催された意見交換会で、盛岡市クリーンセンターについて谷藤市長からも次のようなお話がありました。

●ごみ処理広域化と整備予定地選定の状況

平成31年3月25日に開催された「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」で、盛岡インターチェンジ付近を最有力候補地として、地域との協議を優先して進めていく。

●「ゆびあす」の今後について

新たなごみ処理施設が稼働すれば、盛岡市クリーンセンターは令和10年をもって廃止となり、焼却に伴う熱エネルギーの余熱を熱源として利用しているゆびあすは、令和11年以降その余熱を利用することができなくなる。

平成30年度は過去最高の約27万人に利用され、幅広い世代に親しまれるゆびあすを継続するためには新たな熱源確保の必要が生じ、重油ボイラー設備等を整備する場合費用面が大きな課題となるため慎重に検討する必要がある。

太陽光や温泉熱などの新たな熱源についてもあらゆる角度から活用の可能性を探るとともに隣接するテニスコートや多目的広場、本年4月に開設した「こがねパーク高松」などを含め、北部エリアを一大スポーツ健康ゾーンとして展開する検討も展望としている。

●盛岡市クリーンセンターの敷地について

跡地利用については、現時点で方向性の定めがなく、地域住民や関係者の意見を聴きながら有効活用の方法を検討したい。